



# 作ってワクワク! ダンボールコンポスト



## ★準備するもの



二重構造のダンボール  
(みかん箱等)



中敷き用ダンボール



基材:ピートモス 15ℓ・くん炭 10ℓ ※目安の量  
(ホームセンター等で購入可)



スコップ



クラフトテープ  
(ガムテープ)



覆い布(風呂敷、タオル等)



設置台(木材、ブロック等)  
※通気性を確保するため



YouTube  
"生ごみ堆肥化実験"  
やってみた!

## ★ダンボールコンポストの作り方



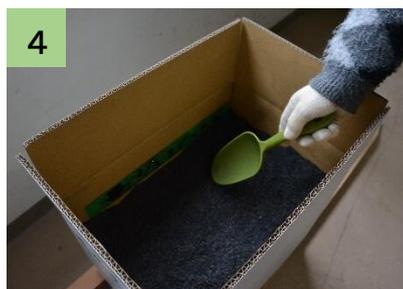
1  
虫が入り込まないように、  
クラフトテープでダンボールの  
隙間を塞ぐ。



2  
箱の底に中敷き用ダンボールを  
入れて補強する。



3  
ピートモスとくん炭を 3:2 の  
割合で入れる。  
(箱の 3 分の 2 くらいまで)



4  
しっかり混ぜ合わせる。



5  
水を加えてかき混ぜ、土を  
しっとりさせる。(強めに握って  
軽く固まるくらいまで)



6  
設置台の上に置き、ダンボールの  
蓋を閉じて虫が入らないよう  
布を被せ、重しを置いたら完成。

ダンボールコンポストは雨に濡れず  
風通しの良い場所に設置してね！



# ★ダンボールコンポストの使い方



1 生ごみを入れる



2 しっかり混ぜる。



3 毎日繰り返す。



## 生ごみ投入のポイント

- ・投入できる生ごみの目安量は1日あたり500g程度。(基材25ℓの場合)
- ・基材が乾燥している場合は水を加えてかき混ぜる。
- ・投入期間は3～6ヶ月程度。
- ・生ごみを入れない日も、発酵に必要な空気を取り込むためにかき混ぜる。
- ・生ごみをなるべく細かくすると、分解されやすくなる。
- ・白カビの発生は発行が進んでいる証拠なので、問題ありません。
- ・虫の発生を防ぐため、生ごみはなるべく早く投入する。
- ・分解が順調に進んでいると温度が20～40℃になる。



3ヶ月間、毎日500gの生ごみ  
を投入すると、約45kgの燃え  
るごみの減量になるよ！



## 入れて良いもの・良くないもの

### ○ 良いもの

- ・炭水化物(ごはん・うどん・パン等)
- ・加熱した肉、魚
- ・野菜や果物の皮、切りくず
- ・発酵食品(ただし味噌は×)
- ・油(揚げ物した後の油でも○)
- ・コーヒーかす、茶殻等(消臭効果有)

### × 良くないもの

- ・生肉、生魚・・・臭いの原因になる
- ・柑橘類・・・殺菌成分があるため、発酵の妨げになる
- ・玉ねぎ、トウモロコシの皮・・・分解されにくい
- ・骨、貝殻・・・分解されない
- ・漬物、味噌・・・塩分が強いと堆肥に向かない

## 熟成後、堆肥として使う

※熟成を行わずに堆肥として使うと、植物や作物の根を痛めてしまうため、必ず熟成を行いましょ！



投入ストップ！

- ・分解のスピードが遅くなった。
- ・基材にべたつきを感じるようになった。

⇒生ごみの投入をストップ！



- ・生ごみは投入せず、1週間に1回程度水を入れてかき混ぜる。  
(夏期:1ヶ月、冬期:2ヶ月程続ける)

生ごみの形が無くなり、水を加えても温度が上がらなくなったら熟成完了！

**土と堆肥を3:1の割合  
で混ぜて使用してね！**

名張市 環境対策室  
TEL:0595-63-7496